

成果報告書

地域部活動推進事業

担当部署	鹿児島県・与論町教育委員会		
所在地	鹿児島県大島郡与論町	運営形態	県・市区町村運営型
運営主体	与論町地域部活動推進協議会		
課題	<p>与論中学校では、9つある部活動のうち、令和4年度の6つの部活動の指導者がその競技等の経験がなく、専門的な指導ができていない状況にある。また、令和3年1月に実施した意識調査では、教師から、休日の部活動の段階的な地域移行について積極的に取り組むよう要望があった。</p> <p>そのような中、令和3年8月に部活動の一部を地域に移行したこと等により、同年10月に実施した業務改善に係る教職員意識調査では、部活動に係る勤務条件の改善について「十分に効果が表れている」と回答した教師の割合は、前年度の11%から25%に上昇した。しかし、「あまり効果が表れていない」と回答した教師も一定数いるため、現在行っている取組をより一層具体的に推進する必要がある。</p>		
事業目標	<ol style="list-style-type: none"> 地域の文化団体と連携し、学校のニーズに合った地域指導者を配置する。 毎月の指導実績報告により、地域指導者の活動状況を適正に管理する。 前年度同月比で、教職員の部活動指導に携わる時間がさらに低減することを目指す。 生徒・保護者向けアンケートを適時実施しながら、部活動の地域移行に対して理解を得られるようにする。 		
団体・組織等の連携			
拠点校等	与論町立与論中学校		
活動場所	与論町立与論中学校 吹奏楽部教室 ※ 町内での演奏会や高校との合同練習の際は「砂美地来館(町内体育施設)」で活動		
活動概要	<p>与論町では、令和2年度末に、中学校、町教育委員会、地域のスポーツ・文化芸術団体等によって組織された「与論町地域部活動推進協議会」により、与論中学校の運動・文化部活動の地域移行を推進している。</p> <p>吹奏楽部については、顧問教諭の部活動指導に係る負担軽減を図るとともに、顧問教諭の人事異動による転出等があった場合にも部の活動に支障が生じないよう、令和3年度に、それまで外部指導者として部活動に参加していた地域住民1人を町教育委員会が地域指導者として任用した。また、令和4年度には、地域移行をさらに推進するために、地域指導者として地域の音楽経験者5人を追加で任用した。</p> <p>6人は、平日は部活動指導員、休日は地域指導者として、地域における継続的な指導の実施に向け活動しており、令和4年度は、顧問教諭の指導時間を平日19.25時間、休日15時間削減することができた。</p> <p>本事業を運用するに当たっては、顧問教諭と地域指導者との良好な関係が保たれるとともに、顧問教諭の指導方針を地域指導者が十分理解することが重要である。そのため、与論町地域部活動推進協議会では、顧問教諭と地域指導者の両者への聞き取り等を繰り返し行ったり、両者が今後の指導の在り方を共通理解するための機会を設けたりしている。</p>		

○本事業による成果

- 令和4年度は、顧問教諭の指導時間を、平日19.25時間、休日15時間削減することができた。そのことにより、顧問教諭が吹奏楽部の指導に従事する時間は地域移行開始前より1～2割削減されており、顧問教諭の負担軽減が図られている。
- 町民の間で、吹奏楽部を地域で支えようという意識が高まり、地域指導者の人数も増えた。
- 令和3年度以降定期的実施しているアンケートでは、全ての生徒が「地域移行をしたことで困ったことはない」と回答している。

○児童・生徒への指導に関する工夫

- 学校部活動と地域部活動を円滑に接続するため、平日と休日の両方を指導できる人材を任用した。
- 顧問教諭と地域指導者の双方への聞き取り等を繰り返し行うなどして、両者の信頼関係の構築と指導方針の共通理解を進めた。

○運営上の工夫

- 地域部活動推進協議会から、休日の部活動の地域移行に関する文書を保護者に配布することにより、周知に努めるとともに理解を求めた。
- 顧問教諭と地域指導者が協議する機会を年に複数回設けることにより、指導方針の共通理解を進めた。

○継続的な運営に関する課題

- 顧問教諭と地域指導者が部の指導方針を共通理解したり、指導の役割を分担したりするための場が年度内に複数回必要である。
- 今年度は、SNSによる広報やオンラインでの説明会によって、地域指導者を追加で任用することができたものの、離島という環境下では、音楽の知識と経験を一定程度有しつつ、吹奏楽部の指導に積極的な人材の数が限られている。今後、安定的な人材確保が課題である。

○令和5年度からの学校部活動の段階的な地域移行に関する方針・計画

今年度の成果と課題を踏まえながら、吹奏楽部の地域移行のねらいや現状を町民に周知したり、地域部活動だからこそできる魅力的な取組を検討したりするなど、地域移行の取組を一層充実したい。その取組を通して、部活動に係る教員の負担軽減を図るだけでなく、生徒にとって質が高く、地域にとって持続可能な文化芸術環境を構築したい。

○令和4年度 取組状況等

参加者	人数等	19人
	募集方法	年度当初に学校部活動としての吹奏楽部に所属した生徒が参加
指導者	人数等	顧問教諭1人、副顧問教諭1人、部活動指導員6人
	募集方法	○ 顧問教諭・副顧問教諭 → 校務分掌による ○ 部活動指導員 → 地域移行前から部活動を指導していた外部指導者1人 年度途中でSNS等により募集したサポーター5人
参加者の移動手段		○ 吹奏楽部教室での活動日 → 移動なし ○ 町内の体育施設での活動日 → 自転車
活動費用	指導者謝金等	○ 謝金 1,200円/時間 ○ 交通費 なし
	その他	○ 指導者謝金及び事務局職員謝金 289,000円/年 ○ 生徒引率旅費 43,360円/年 ○ 通信運搬費(SNS掲載等) 11,000円/年 ○ 生徒及び指導者の保険料 30,140円/年
活動財源	会費	なし ※ 学校部活動としては2,000円/月を徴収
	その他	令和4年度は国・県の補助金から上掲の「活動費用」欄の全額を支出
スケジュール	基本活動	土曜日 9:00～12:00 (年間37回)
	年間	地域クラブ活動として、12月に高校の吹奏楽部との合同演奏会や県ソロ・アンサンブルコンテストに参加。その他、休日の依頼演奏にその都度対応した。
保険加入等		○ スポーツ安全保険に加入(生徒19人。指導者8人) ○ 保険料は30,140円/年 ○ 保護者及び指導者の負担なし

【活動の様子（写真添付）】



【学校行事で演奏を披露する与論中学校吹奏楽部】



【地域移行後の吹奏楽部として参加した、与論高校との合同定期演奏会】